



Assist

国語科

「付きたい力」を明確にした授業づくりを行いましょう！

今回は、第3学年及び第4学年「読むこと」C(1)アの指導事項をもとにした授業づくりについてお届けします。今後の授業づくりの参考にいただければと思います。

【例：第3学年「すがたをかえる大豆」光村図書「国語3上」】

☆学習指導要領解説を詳しく見てみましょう！（P108～109）

（例）○構造と内容の把握（説明的な文章）※第3学年及び第4学年の「読むこと」C(1)ア



第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年	中学校第1学年
ア 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、 <u>内容の大体を捉えること。</u>	ア 段落相互の關係に着目しながら、 <u>考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、</u> 叙述を基に捉えること。	ア 事実と感想、意見などとの關係を叙述を基に押さえ、 <u>文章全体の構成を捉えて要旨を把握</u> すること。	ア <u>文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との關係などについて</u> 叙述を基に捉え、要旨を把握すること。



第3学年及び第4学年では、「考え（＝筆者の考え）とそれを支える理由や事例との關係」について叙述を基に捉える力を付けていきます！

ア 段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えること。

第1学年及び第2学年のアを受けて、段落相互の關係に着目しながら、文章の構造や内容を把握することを示している。

段落相互の關係とは、考えとその事例、結論とその理由といった關係などのことである。これらの關係に着目しながら、書き手の考えがどのような理由によって説明されているのか、どのような事例によって具体化されているのかなどを、叙述を基に正確に捉えていくことが求められる。なお、事例とは、書き手の考えを具体的に説明するために挙げられた事柄や内容のことである。



第3学年及び第4学年「読むこと」C(1)アで求めているのは、ここです。

書き手の考え＝筆者の考えです。「すがたをかえる大豆」では「どのような理由によって説明されているのか、どのような事例によって具体化されているのか」に関わる部分が「中」の部分です。つまり、「中」に書かれていることが筆者の考えと繋がっていることを捉える必要があります。

→次ページに具体的な改善事例を示しています。

お知らせ

授業力向上のための要請訪問があります！ぜひ、活用してみてください。

授業力向上の要請訪問とは？どんなことができるの？

- ・先生方の困り感やニーズに応じた内容で行います。
- ・内容の詳細や回数は、訪問担当指導主事までご相談ください。

（内容の例）

例①

研究授業を実施し、指導主事と授業者のみで整理会を行う。

例②

指導主事と授業者で授業構想（指導案作り）を行う。

例③

例②で作成した指導案をもとに、授業を実施し、整理会を行う。

【例①だけでなく、例②・例③等の要請もできます。例②のみも可能です。】

※申し込み方法・指導案の形式等、詳細は『学校訪問計画書P9』をご確認ください。



☆具体的な授業場面で考えてみましょう！

文章全体の構造を捉える際、どのような理由や事例が「中」のまとまりに書かれているのかを捉える指導にとどまり、その理由や事例と筆者の考えとの関係を捉える指導にまで至っていないことが考えられる。

令和5年度「基礎学力調査」—分析・考察と指導事例— P10より

指導改善のポイントはここにありそうだね！

ここを外さずに課題を設定することが大切です。

みんなで作った課題の中から、＜筆者は考えを伝えるために、説明の仕方をどのように工夫しているのか＞について考えてみましょう。今までの学びを振り返って考えるといいです。

第3学年及び第4学年の指導事項でねらっているのはここです。

第1学年及び第2学年の指導事項です。
=C評価

つまづいている児童の想定です。下の教師の働きかけを参考にしましょう。

既習を生かして課題について考えようとしている児童

既習を想起しているが、課題と結び付けて考えることができていない児童

既習を想起できず、課題を解の見通しももつことができていない児童

前の時間で学習した筆者の考えを確認し、「中」に書かれた例とのつながりを考えてみようと思います。

2年生で学習した「まず」「次に」「それから」など、順序が分かる言葉に注目してみようと思います。

どの言葉に注目のか分からないので、「中」に例が書かれているから、「中」を読もうと思います。

自分の考えをもつために注目した叙述に線を引いて、気付いたことがあったら書き込んでみましょう。友達と相談したい人はいつでも相談していいですよ。

筆者は、「大豆のよいところ」に気づき、食事に取り入れてきた昔の人々のちえにおどろかされます。」と述べているから、おどろきが伝わる順に例を挙げているのかな。

順序を表す言葉が見つかったよ。「いちばん」「次に」と書かれているから、分かりやすい順に例を挙げているのかな。

読んでもよく分からないから、写真を手掛かりに考えてみようかな。

筆者の考えを捉えられているから、考えと事例との関係に気付くことができるよ。

例に着目できているから、次は友達との交流を通して、考えと事例の関係に気付くことができるようにしよう。

「中」の各段落の1文目に着目して、端々のカードを順に並べ替えてみましょう。

ここを先生が意識して働きかけることが必要です。

「分かりやすい」で終わってはC評価。

友達と交流

「はじめ」に書かれていることとつなげて考えると、「おいしく食べる工夫」が分かりやすい順だと思えます。

「いちばん分かりやすいのは」と書いてあるから、分かりやすい順だと思うけれど、何が分かりやすいのかな。

順序を表す言葉にたたら、事例を並べ替えてきたよ。事例は、分かりやすい順に挙げられているのかな。

「目に見えない小さな生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう」と書かれているから、納豆がみそやしょうゆの仲間だと思う。だから、4番目に挙げられていると思うよ。

確かに。すがたが分かりやすい順に例を挙げているのだとしたら、納豆が4番目に挙げられているのは、おかしいな。納豆が4番目に挙げられているのは、なぜかな。

「分かりやすい順」とは、「何が」分かりやすいのですか。
題名が、「すがたる大豆」だから、分かりやすいものから順に並べられているのかな。でも、納豆は大豆の形に近いのに、4番目に挙げられているのは、なぜかな。友達の意見を聞いてみよう。

叙述を基に考えていることがGood!

ここを「問い返す」ことが必要です。

時間・事柄の順序に注目するのみだと第1学年及び第2学年の指導事項の内容 =C評価

全員、順序を表す言葉に着目して考えることができましたね。では「いちばん分かりやすいのは」と書かれていますが、何が分かりやすいのですか。
【児童が事例と話題との関係に気づき、筆者の考えと事例との関係について考えるための発問】

疑問を教師とだけではなく友達と解決していけるとGood!

第3学年及び第4学年の指導事項ではここが必要です。

「いちばん分かりやすいのは、…おいしくするくふうです。」は、「はじめ」の「…おいしく食べるくふうをしてきました。」とつながっていると思うよ。だから、分かりやすいのは、おいしく食べる工夫だと思うよ。

説明の工夫を理解することで終わってしまう。=C評価

「中」と「はじめ」、「中(説明の工夫)」と「おわり(筆者の考え)」の結び付きを捉える。
=段落相互の関係が捉えられてB評価